

製品名: CUX1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09544**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	164kDa

抗原情報

遺伝子名	CUX1
別名	CUX1; CUTL1; Homeobox protein cut-like 1; CCAAT displacement protein; CDP; Homeobox protein cux-1; CUX1; CUTL1; Protein CASP
遺伝子 ID	1523.0
SwissProt ID	P39880/Q13948
免疫原	抗血清はヒト CUTL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

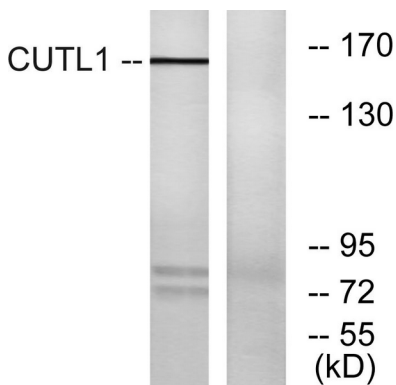
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、DNA 結合タンパク質のホメオドメインファミリーのメンバーです。遺伝子発現、形

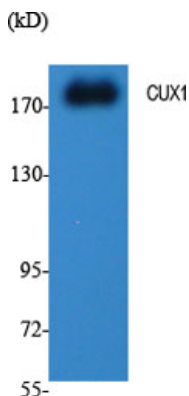
態形成、分化を制御し、細胞周期の進行にも関与している可能性があります。異なるアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが同定されています。 [RefSeq 提供、2011 年 2 月], 代替産物: 追加のアイソフォームが存在する可能性があります, 機能: ゴルジ体内逆行性輸送に関与している可能性があります。 , 機能: 哺乳類の発生において、発生制御遺伝子発現の抑制因子として幅広い役割を果たしていると考えられます。 正に活性化する CCAAT 因子がプロモーターに結合するのを阻害することで作用する可能性があります。 nf-munr リプレッサーの構成要素であり、免疫グロブリン重鎖エンハンサーのマトリックス付着領域 (MAR) (5'および3') に結合します。 T細胞受容体 (TCR) βエンハンサーの上流に位置する ATC に富む DNA 配列である MARbeta に結合し、TCRβエンハンサーの機能を抑制します。 , その他: Asn-1290 は、ホモ二量体およびヘテロ二量体形成を促進することで DNA 結合活性の調節に関与している可能性があります。 , PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。 , 類似性: CASP ファミリーに属します。 , 類似性: CUT ホメオボックスファミリーに属します。 , 類似性: 1 つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。 , 類似性: 3 つの CUT DNA 結合ドメインを含みます。 , サブユニット: ホモ二量体。ジスルフィド結合。 GOLGA5 と相互作用します。 , サブユニット: BANP と相互作用します。 ,

研究分野

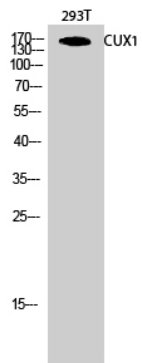
画像データ



CUTL1 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CUX1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



1: 1000 希釈の CUX1 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析